

Ⅲ 区民の皆さまのご意見・ご要望を区政に活かします

区は、区民満足度の向上を図るため、区民の皆さまの意見やご要望を把握し、的確に施策へ反映しています。

ここでは、平成 24 年度に実施した「大田区政に関する世論調査※2」の中から区民の皆さまのご要望の一部を紹介するとともに、それに関連する主な事業の 24 年度の実施状況をお知らせします。

(1) 区民の皆さまからの要望（設問順）

バリアフリー・ユニバーサルデザイン

バリアフリーやユニバーサルデザインの視点でまちづくりを進めるにあたり、広報や啓発活動で区としてどのような取り組みが必要だと思いますか（いくつでも）。

- 「ユニバーサルデザインの考え方をわかりやすく説明したパンフレットの作成・配布」が36.7%と最も高く、次いで、「学校教育・社会教育の充実」（34.3%）、「高齢者や障がい者などの区民が交流できる場や機会の設置」（29.3%）、「広報誌、ホームページ、ケーブルテレビなどを利用したPR活動」（28.3%）の順となっています。

→関連する主な事業（P. 14 参照）

- ・ ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針の策定・推進
- ・ 誰にもわかりやすいサイン整備

空港臨海部のまちづくり

空港臨海部を、今後区民にとって身近な地域としていくためにはどのようなことが必要だと思いますか（3つまで）。

- 「散策路や緑道の整備」が 37.7%と最も高く、次いで、「海辺の自然環境の保全」（33.9%）、「公園緑地や運動施設の整備」（33.1%）の順となっています。

→関連事業（P. 14～15 参照）

- ・ にぎわいのある文化交流拠点の整備
- ・ 世界へ発信する産業支援拠点の整備
- ・ 水と緑のふれあいゾーンの整備
- ・ 海辺の散策路整備
- ・ 空港臨海部将来構想の検討
- ・ 交通ネットワークの検討

【用語解説】大田区政に関する世論調査※2
 調査時期：平成 24 年 7 月 18 日～8 月 5 日
 調査対象：大田区内に居住する満 20 歳以上の男女個人 2,000 人（層化二段無作為抽出法）
 調査方法：郵送調査。ただし、回収方法は郵送回収に加え、携帯電話及びパソコンを利用した電子申請からの回答も実施。
 回収数：1,181 人（回収率 59.1%）

国際化推進

大田区が行う「国際都市おおた」の実現に向けた取り組みにより、どのような効果を期待しますか（いくつでも）。

○「地域経済の活性化」が61.2%と最も高く、次いで、「羽田空港の有効活用」（50.1%）、「地域力の向上」（35.4%）、「多様な文化の交流」（30.7%）の順となっています。

→関連事業（P. 15～16 参照）

- ・ 日本語指導教室の充実
- ・ 海外市場開拓支援
- ・ にぎわいを生み出すスポットづくり
- ・ ものづくりのまち体験ツアーの実施
- ・ シティセールスの実施
- ・ 多文化共生推進センターの整備
- ・ 外国人のための日本語教室の充実
- ・ 身近な暮らし情報の発信

防災対策

あなたが、大地震の際の防災対策として、大田区に特に力を入れてほしいことは何ですか（3つまで）。

○「非常用食料・飲料水、災害用トイレなど防災用品の確保」が74.1%、次いで、「避難方法・避難所・避難場所の確保」が51.5%、「情報の収集・伝達手段の確保」が45.5%の順となっています。

→関連事業（P. 17参照）

- ・ 橋梁の耐震性の向上
- ・ 防災情報基盤の整備
- ・ 災害時相互支援体制の整備
- ・ 地域防災活動の支援

特に力を入れてほしい施策

あなたは大田区の施策の中で、特に何に力を入れてほしいと思いますか（いくつでも）。

- 「防災対策」が 50.0%と最も高く、半数を占めています。次いで「高齢者対策」（35.9%）、「緑化推進」（35.6%）、「道路の整備」（34.7%）の順となっています。
- 「防災対策」、「高齢者対策」の2施策は、平成16年度以降常に上位2位を占めています。

→関連事業（P. 18～21 参照）

「高齢者対策」

- ・ 高齢者の就労促進・起業支援
- ・ 介護予防の促進
- ・ 地域の見守り体制の整備
- ・ 家族介護者への支援
- ・ さわやかサポート（地域包括支援センター）の拡充と福祉ネットワークの強化
- ・ 介護保険施設等の整備支援
- ・ 高齢者総合相談体制の構築
- ・ 高齢者緊急一時保護・支援体制の整備
- ・ 高齢者等の権利擁護の推進

「緑化推進」

- ・ 公園の整備
- ・ 魅力ある公園のリニューアル
- ・ 呑川緑道の整備
- ・ 桜のプロムナードの整備
- ・ グリーンプランおおたの策定・推進（緑の基本計画改定）

「道路の整備」

- ・ 身近な地域の魅力づくり
- ・ 都市計画道路の整備
- ・ 京浜急行線連続立体交差事業関連街路の整備

(2) 主な事業の平成 24 年度実施状況

バリアフリー・ユニバーサルデザイン

事業名	内容	決算額(円)
ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針の策定・推進	<p>おおたユニバーサルデザインのまちづくり区民推進会議(2回)、UD推進部会(3回)、UD普及部会(3回)を開催し、区民等とユニバーサルデザインのまちづくりの普及、推進等について検討しました。</p> <p>おおたユニバーサルデザインのまちづくりパートナー(UDパートナー)登録制度により、区民を登録(42人)しました。UDパートナーにより、ユニバーサルデザインの視点で公園・施設等の点検(16か所)を実施しました。</p> <p>東京都のユニバーサルデザイン福祉のまちづくり事業のモデル地区に指定されている山王、馬込、池上地区では、ユニバーサルデザイン教育の推進等の総合学習支援モデル事業を小学校で実施しました。</p>	3,103,790
誰にもわかりやすいサイン整備	<p>区役所本庁舎地下駐車場出入口及び場内の誘導案内サインを更新しました。表示を大きくわかりやすくし、一部にはピクトグラム表示や外国語併記を行い、車往来時の安全性を高めました。また、駐輪場入口及び出口の案内サインをピクトグラムと外国語併記に変更するなどにより、出口からの乗り入れを防ぐとともに、入口の場所がすぐわかるようにしました。</p> <p>「大田区サイン基本計画」に掲げる事業について、平成23年度中の取組み実績をとりまとめ、ホームページ等で公表しました。</p>	9,450,931

空港臨海部のまちづくり

事業名	内容	決算額(円)
にぎわいのある文化交流拠点の整備	<p>ものづくりの国際競争力向上と、地域の活性化をねらう産業交流施設の整備を位置付けた「国際戦略総合特別区域計画」が、平成24年7月に国の認定を受けました。産業交流施設用地の売り払いについては、国際戦略総合特区制度に基づく国との協議において、随意契約による売り払いが可能であるとの見解が示されました。</p> <p>産業交流施設の機能については、国や東京都等との関係機関協議を進めました。さらに、交通量調査を実施し、基盤施設の整備について検討を進めました。</p>	5,880,000
世界へ発信する産業支援拠点の整備		
水と緑のふれあいゾーンの整備		
海辺の散策路整備	<p>庁内調整や東京都との調整会議を定期的に行い、臨海部の埋立地を結ぶ緑のネットワークの形成に向けた拠点整備や散策路の整備手法について検討しました。</p> <p>大森南(延長380m)の散策路整備を行いました。</p>	56,105,500

事業名	内容	決算額(円)
空港臨海部 将来構想の 検討	空港臨海部まちづくり・交通ネットワーク等基礎調査を実施(6月～3月)し、空港臨海部における産業団体等(7 団体)と行ったヒアリングを踏まえて現状を整理・分析し、ものづくり産業の維持・発展とものづくり、物流、環境の各産業が共存するための、空港臨海部の活性化に向けた土地利用の誘導の方向性を検討しました。	8,599,500
交通ネットワ ークの検討	空港臨海部まちづくり・交通ネットワーク等基礎調査を実施し、羽田空港国際化、京浜3港の連携など新たな社会情勢に対応するとともに、賑わいのまちづくりの観点からも交通ネットワークの方向性を検討しました。 また、災害時における水上輸送ネットワークとして大田区災害時水上輸送計画(案)を検討するとともに、同調査では、平常時における水上輸送ネットワークの可能性を検討しました。	

国際化推進

事業名	内容	決算額(円)
日本語指導 教室の充実	小学生(58人)、中学生(22人)に、1人60時間の日本語初期指導を実施しました。蒲田小学校、蒲田中学校において、教科学習等を充実させるために必要な日本語指導を実施しました(小学生20人、中学生23人)。	17,117,700
海外市場開 拓支援	企業の取引拡大につながる海外展開を支援するため、タイのオオタ・テクノ・パーク(OTP)入居及びタイ市場進出に向けて準備を進める企業(20社)を引率して、現地において施設・政府機関や関連企業の紹介等(延べ6回)を実施し、新規に4社の入居が決定しました。 中国市場開拓として、杭州・瀋陽・上海・香港及び台湾における、大田区企業(28社)の展示会出展及び現地企業との商談会開催を支援しました。また、海外見本市への出展支援を実施しました(タイ・中国あわせて6展示会、区内企業32社(初出展17社))。 海外取引相談(486件)、中国取引相談(344件)、外国語文書翻訳(73件)を行ったほか、中国市場勉強会(6回、参加数15社20人)、海外市場セミナー(6回)を開催しました。 中国(5回)・タイ(8回)の市場開拓、その他海外市場の市場開拓及び現地調査(9回)を実施しました。 諸外国との産業連携(国内)を計32回行いました。	26,181,674

事業名	内容	決算額(円)
にぎわいを 生み出すス ポットづくり	<p>新たな観光コースづくりとして、「品川・大田地域観光まちづくり推進協議会」にて、品川(品川浦、大井競馬場、しながわ水族館)と大田(羽田空港天空橋船着場、大森ふるさとの浜辺公園)を結ぶクルージングイベント(「船で行こうOTAふれあいフェスタ」乗船者数延べ約1,500人、「船で行こう七福神と旧東海道」乗船者数316人)を実施しました。また、それに伴い品川・大田を結ぶルートマップを作成しました。</p> <p>蒲田エリアをPRするガイドパンフレット「蒲田ガイド」、大田区全域版「大田区ガイド」(日・英・韓・中版)を作成しました。その他「大田の観光」、「大田ヒストリア(万両塚異聞・賢女三代記)」、「オオタ・100年、タマチ・50年～栄光の軌跡!!～」、ボランティアガイドの活動を紹介する「まち歩き News」など新規のパンフレットを発行しました。</p> <p>既存の海外向け観光情報媒体「Wattention」(東京・シンガポール・ロサンゼルス・台湾)に記事掲載しました。</p>	1,446,000
ものづくりの まち体験ツア ーの実施	<p>工場公開イベント「オープンファクトリー」を実施しました(参加者1,500人、参加企業26社)。</p> <p>また、おた商い観光展、大田工業フェアにて、ものづくり観光についてのパネル展示を行いました。</p>	4,750,000
シティセール スの実施	<p>「梅ちゃん先生」を活用し、地域と一体となったシティセールスとして展示会(5回)、シンポジウム(1回)、ウォーキング他イベント(3回)を展開しました。</p> <p>インバウンドを対象としたシティセールスとしてトラベルマート(海外事業者向け説明会)を企画(1回)しました。</p> <p>観光情報媒体として、「大田区ガイド」を発行し、「Wattention」に記事掲載しました。</p> <p>おた商い観光展において、第2回観光シンポジウムを開催(1回)しました。</p>	52,154,254
多文化共生 推進センター の整備	<p>区内の多文化共生の拠点である多文化共生推進センターにおいて、3か国語での外国人向け多言語生活相談(796件)、行政情報の翻訳(173件)、区施設への通訳派遣(76件)、多文化交流事業(世界音楽フェスタ:参加者345人、バズディスカッション:参加者28人)等、多文化共生推進プランの計画事業を着実に実施しました。</p>	17,370,256
外国人のた めの日本語 教室の充実	<p>日本語ボランティア養成講座を実施し、区民ボランティアの育成に努めました(2回、参加者延べ241人)。</p> <p>区内の日本語教室との連携により、学習者の出身国、年齢、性別に合わせた指導員を配置するなど、学習者のニーズに応じた講座を実施しました(全24回、参加者延べ426人)。</p>	2,200,000
身近な暮らし の情報の発信	<p>区報と連携した外国籍区民向け多言語情報誌「おたシティナビゲーション」を5か国語(英語、タガログ語、中国語、ハングル、日本語)で作成し、毎月15日に発行しました。</p>	3,261,699

防災対策

事業名	内容	決算額(円)
橋梁の耐震性の向上	<p>架替工事について、仲之橋の上下部工事、新馬込橋の新設橋台の構築が完了しました。また、八幡橋について予定通り竣工しました。</p> <p>橋梁の設計基準(道路橋示方書)の改定が行われたため、設計済未施工橋梁も含め、新基準に基づき設計の見直しを行いました。美富士橋、稲荷橋の耐震補強設計を実施しました。</p> <p>山王道跨線人道橋、外川田跨線人道橋、宮前跨線人道橋、西三跨線人道橋、第二中谷跨線人道橋、新根方橋、富士見橋の耐震補強設計について、新基準に沿った設計に修正しました。</p>	625,425,336
防災情報基盤の整備	<p>区報、区ホームページ等にアドレスやQRコードを表示し、区民安全・安心メールサービスの広報を行った結果、登録件数は9月のピーク時で49,087件でした。なお、3月時点での登録者数は、卒業生の関係で減少し、47,050人(前年度比50人減)となりました。</p> <p>緊急地震速報を受信する際に、受信器の運用及び検証を行い、機器が正常に作動することを確認しました。</p> <p>デジタル防災行政無線の整備として、76局を整備しました。うち難聴対策として新規に6局を整備しました。そのほか、無線FAX、文字情報伝送装置を18特別出張所へ配備し、戸別受信機を区施設294か所へ設置しました。また、緊急用仮設代行局を設置しました。</p>	390,513,900
災害時相互支援体制の整備	<p>防災危機管理関係学習講座を開催しました。講師として、被災地の自治体職員を招き、震災時の対応や発災後の復旧・復興状況、災害時要援護者対策、市民の避難状況と避難所運営等について、緊急対応の状況を振り返りながら講演を行っていただきました。これまでの講習会では、実際に被災し、対応した方の生の声を直接聞く機会がなかったことから、災害によって生じる問題や要援護者支援について、より理解を深め、具体的な対策を考えるための良い機会となりました。</p> <p>災害時のボランティアリーダーの育成として防災コーディネーターを外部委託講師として派遣し、6回の講座からなる防災塾を実施しました(受講者32人、修了者29人)。</p>	623,573
地域防災活動の支援	<p>災害時における区民の自主的な活動体制を確立するため、防災市民組織(213団体)へ訓練実施等の防災活動経費を助成するとともに、初期消火用スタンドパイプの配備を行いました。また、市民消防隊(146団体、前年度比1団体増)に対して、訓練実施等の活動経費を助成しました。</p> <p>起震車、煙体験の派遣(292回)や防災パンフレットの配布を通じた「自助」の重要性の呼びかけ、またスタンドパイプを使用した訓練(59回)、仮設トイレ組み立て指導(35回)等を通じた「共助」の呼びかけを実施しました。</p> <p>消防署と協力し、地域での発災対応型訓練等の提案による訓練を実施しました。</p>	61,841,028

高齢者対策

事業名	内容	決算額(円)
高齢者の就労促進・起業支援	<p>平成 24 年2月に開設した大田区高齢者等就労・社会参加支援センター(大田区いきいきしごとステーション)にて、高齢者の就労の相談・支援、情報提供、講座や面接会を開催しました。高齢者つながりフェアでブースを設置し、チラシ配布や相談会を実施し、就労相談とともに、大田区いきいきしごとステーションの周知を推進しました。</p> <p>また、合同就職面接会(参加者 170 人)、就職面接会(延べ 58 人)、就労支援セミナー(延べ 109 人)を開催しました。</p>	24,412,867
介護予防の促進	<p>高齢者の介護予防を促進するため、アンケート調査(2,390 件回収)を行い、対象となった 412 人へ二次予防事業を案内しました。</p> <p>また、通所型介護予防講座いきいきシニア塾(6日制、運動編、口腔編、参加者延べ 2,526 人)とともに総合プログラム(12 回、運動・栄養・口腔がセットになった予防講座)をスポーツクラブにて実施しました。その他、閉じこもりやうつ、認知症等できいきシニア塾に通うことができない方を対象に、訪問型による介護予防の個別指導(延べ 147 人)を行いました。</p> <p>元気な高齢者向けに、20 か所のさわやかサポートで介護予防教室(250 回、参加者 3,296 人)、本門寺公園等4か所の公園で公園体操講座(39 回、参加者延べ 1,444 人)を開催しました。また、認知症予防プログラム(3回、参加者延べ 468 人)に加え、より認知症予防効果の高い「絵本の読み聞かせ講座」を東京都健康長寿医療センター研究所と共催しました(22 回、参加者延べ 381 人)。</p> <p>指導者育成の一環として、本門寺公園等4か所の公園で公園体操指導者育成講座(29 回、参加者延べ 394 人)を開催したほか、介護予防活動サポーター養成講座(1回、参加者延べ 36 人)、介護予防活動リーダー養成講座(1回、参加者延べ 88 人)を開催しました。</p>	298,060,576
地域の見守り体制の整備	<p>高齢者見守り・支え合いネットワーク活動事例集、高齢者見守りチェックシート等の作成や、区報への記事掲載による高齢者見守りの啓発を行いました。</p> <p>平成 24 年4月から高齢者見守りキーホルダー登録事業(登録者数 14,510 人)を実施し、6月からは各さわやかサポートに高齢者見守りコーディネーターを配置するなど、高齢者を見守る体制づくりに取り組みました。</p> <p>高齢者見守り推進事業者を新たに3事業者登録したことにより、全 14 事業者となり、区と連携した見守りを強化しました。</p>	19,749,524

事業名	内容	決算額(円)
家族介護者への支援	<p>平成 24 年5月に新設した特別養護老人ホーム「バタフライヒル大森南」に、ショートステイ(10人)を併設しました。</p> <p>家族介護者に対する介護方法の指導や健康相談等を実施したほか、家族介護者情報誌「ゆうゆう」を発行(4回)しました。</p> <p>認知症予防講演会(1回、参加者 250人)を開催しました。</p> <p>認知症サポーター養成講座を実施(52回)し、約 1,600人が認知症サポーターとなりました。</p> <p>家族介護者支援ホームヘルプサービス事業について、区報で周知(2回)し、サービスの利用実績は延べ 2,610時間でした。</p>	15,002,744
さわやかサポート(地域包括支援センター)の拡充と福祉ネットワークの強化	<p>区が保有する行政情報をさわやかサポートで参照することができる「行政情報参照システム」を開発・導入するとともに、さわやかサポート職員の相談対応能力の向上を目的とした研修(3回、参加者 67人)を実施することで、さわやかサポートの機能強化を図りました。</p> <p>さわやかサポート六郷中の(仮称)仲六郷二丁目複合施設内への移転に向けた準備検討を行いました。</p>	609,516,233
介護保険施設等の整備支援	<p>認知症高齢者グループホームの整備支援について、2事業者(各3ユニット)を運営事業者として選定し、両事業者とも着工しました((仮称)グループホームのどか池上、(仮称)グループホーム大森東あやめ)。</p> <p>都市型軽費老人ホームの整備を支援し、3か所の施設が着工しました((仮称)都市型軽費老人ホームのどか池上、(仮称)ケアハウス大森東あやめ、(仮称)ケアハウス・ハート萩谷。内2か所は認知症高齢者グループホームと併設)。</p>	169,504,605
高齢者総合相談体制の構築	<p>高齢者の相談にいつでも応じることができるよう、区窓口が閉庁している時間帯に高齢者ほっとテレフォンを実施し、相談(件数 1,107件)に対応しました。事業については区報(4回)、統合ポスター、見守りキーホルダー登録時の申請書類等を活用し、周知を行いました。</p> <p>さわやかサポートへの支援体制として、行政情報参照システムの開発・導入を行いました。</p>	8,722,615
高齢者緊急一時保護・支援体制の整備	<p>区内警察署との連絡会議において、区の高齢福祉サービスの情報提供や緊急保護時の対応等の意見交換を行い、緊急支援体制の強化を図りました。</p> <p>緊急ショートステイについては、24年度から5床(1床増)としたことにより、満床のため利用できない件数が昨年度と比較して 30件(60%)減少し、利用ニーズに応えることができました。</p>	14,660,860

事業名	内容	決算額(円)
高齢者等の権利擁護の推進	<p>成年後見制度について区報や介護保険事業者連絡会等で周知しました。</p> <p>また、社会福祉協議会成年後見センター職員を地域学習会等に派遣し(15回)、支援を行いました。</p> <p>社会福祉協議会成年後見センターにおいて、成年後見制度の活用に向け、窓口相談(1,255件)、専門相談(39件)、成年後見人養成講座(基礎3回、実務3回、参加者87人)、窓口担当者法律セミナー(4回、参加者84人)を実施しました。</p> <p>家庭裁判所に対し、成年後見制度に関する区長申立て(19件)を行いました。</p> <p>社会福祉協議会成年後見センターでの法人後見の受任件数は21件(法定後見15件、任意後見6件)となりました。</p>	29,623,229

緑化推進

事業名	内容	決算額(円)
公園の整備	<p>田園調布せせらぎ公園について、第二水源上部の造成工事を施工しました。佐伯山緑地について、造成工事(第3期)を施工しました。</p> <p>高畑第三児童公園、南馬込一丁目南児童公園、蘇峰公園、(仮称)南雪谷五丁目公園、新井宿第一児童公園の設計委託を実施し、うち蘇峰公園については整備工事を開始しました。</p>	832,922,761
魅力ある公園のリニューアル	<p>公園のバリアフリー化を推進するため、萩中公園(第4期)、洗足池公園(第3期)、本門寺公園(第2期)、池上梅園(第2期)、蘇峰公園の設計委託・整備工事を実施しました。平和の森公園(第3期)、萩中公園(第4期)、洗足池公園(第2期)の工事を行い、完了しました。</p> <p>萩中公園に健康遊具を設置しました。また、邦西第二児童公園、中央二丁目児童公園、東調布公園、南蒲公園、新蒲田公園、萩中公園、本門寺公園の遊具改修を行うとともに、旧呑川緑地の老朽化した遊具を撤去し、複合遊具を設置しました。</p> <p>桜の保全、更新については、洗足池公園で桜の更新工事を行い、桜を4本植樹しました。</p>	278,829,600
呑川緑道の整備	<p>水と緑の輝きや四季の変化を楽しめる散策路を整備するため、南雪谷五丁目の緑道整備工事(205m)及び東雪谷五丁目の実施設計(150m)を完了しました。</p>	22,470,000
桜のプロムナードの整備	<p>水と緑のネットワークの充実を図るため、南馬込四丁目から六丁目・大森西二丁目の散策路整備工事(合計310m)及び西馬込一丁目の散策路整備設計委託(140m)を完了しました。</p>	86,328,900

事業名	内容	決算額(円)
グリーンプラン おおたの策定・ 推進(緑の基 本計画改定)	<p>大田区緑の基本計画「グリーンプランおおた」の推進を図るため、グリーンプランおおた推進会議(3回)及び庁内推進会議(6回)、作業部会(8回)を開催し、みどりの条例及び平成23年度の重点事業の実績評価等について検討しました。</p> <p>みどりの施策等基礎調査を実施し、18色のみどりのまちづくりアンケート、樹林地調査を実施しました。</p> <p>みどりの条例を策定し、大田区の地域力を生かしたみどりのまちづくりに関する基本理念及び施策について必要な事項を定めました(25年4月1日施行)。</p>	2,355,000

道路の整備

事業名	内容	決算額(円)
身近な地域の 魅力づくり	<p>「人と緑と文化の調和するまち」をめざした大岡山駅周辺地区の整備を進めるため、区画街路第1号線の鉄道蓋かけ工事を行いました。</p>	2,218,634,088
都市計画道路 の整備	<p>主要幹線道路間の交通円滑化を図り、安全で快適な歩行者空間を確保するため、区画街路第1号線については、土地収用法裁判申請を行い、用地取得(1画地、33.11㎡)しました。</p> <p>補助44号線については、契約買収(1画地、10.48㎡)、土地収用手続(1画地、115.52㎡、手続中)を行い、さらに、土地開発公社から用地(3画地、33.56㎡)の買戻しを行いました。また電線共同溝工事を施工しました(延長300m)。</p> <p>補助43号線については、契約買収(10画地、394.31㎡)を行うとともに、復元測量、管理舗装(管理舗装面積173㎡)を行いました。</p>	303,948,834
京浜急行線連 続立体交差事 業関連街路の 整備	<p>街路整備について、弾正橋架替工事に着手するとともに、下水道工事(放射第19号交通広場・区画街路第2号線)、電線共同溝整備(本線付属街路第1号線)を行いました。また、街路設計について、電線共同溝・街路整備及び交差点詳細設計委託(本線付属街路第2号線、区画街路第3号線)、街路整備実施設計(大田歩行者専用道第1号線、本線付属街路第1号線、区画街路第2号線、第328号線)を行いました。</p> <p>また、東京都受託事業の関連側道整備工事において、本線付属街路4号及び5号の下水道整備工事を行いました。</p> <p>用地取得については、任意での契約締結により4画地を取得しました。さらに、土地収用法に基づく土地権利取得裁決及び建物等明渡裁決により4画地の権利を取得しました。これにより、用地契約率は93.22%となりました。</p>	1,421,447,387